

科目名	世界の音楽教育	形態	講義	開講期	秋学期
担当教員	梶山 宇一	単位	2	年次	1

＝授業科目の目標＝

レナード バーンスタイン、カラヤン、小澤征爾といった世界が認める音楽家の貴重な映像を見ながら、彼らの音楽に対する姿勢や、良き指導法を学ぶ。欧米とアジア、それぞれに異なった文化と習慣の中で生まれてきた音楽教育。それぞれの良さを知ること、より幅広い視点から、音楽教育というものを考えてみる。日本独自の指導方法にとらわれず、より自由な発想で音楽指導に向き合い、「表現することの大切さ」を伝えらる良き教育者になるための知識と想像力を学習する。

＝履修の条件と学習の方法＝

バーンスタインがテレビ放送で企画した「ヤングピープルズコンサート」、小澤征爾「OZAWA」などを見ながら、どのようなアプローチで子供達に音楽を教えていくべきか学習する。欧米や他の国の音楽教育を学び、日本の音楽授業との違いを比較する。それぞれの良い点と悪い点を知ること、より幅広い視野を持ち、柔軟性のある考え方を持つことの大切さを学ぶ。オーケストラや吹奏楽の活動を、「授業」として行なっている欧米と、「部活動」として行なっている日本では、どんな違いが生まれているのか。クラス全体で、より良い音楽教育のあり方を考える。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認
- 2回 欧米の音楽教育 I（レナードバーンスタイン 「ヤングピープルズコンサート」）
- 3回 欧米の音楽教育 II（レナードバーンスタイン 「ヤングピープルズコンサート」）
- 4回 欧米の音楽教育 III（レナードバーンスタイン 「ヤングピープルズコンサート」）
- 5回 欧米の音楽教育 IV（カラヤン「マエストロ マエストロ！」）
- 6回 欧米の音楽教育 V（カラヤン「カラヤンの美」）
- 7回 アジアの音楽教育 I（小澤征爾「OZAWA」）
- 8回 アジアの音楽教育 II（小澤征爾「西洋音楽と格闘した半世紀」）
- 9回 東洋の音楽教育 I（齋藤秀雄 「歌え！全身で歌え」）
- 10回 東洋の音楽教育 II（サイトキネンオーケストラ 「歌え！全身で歌え」）
- 11回 東洋の音楽教育 III（サイトキネンオーケストラ 「歌え！全身で歌え」）
- 12回 欧米の音楽教育 I（ベルリンフィルと子供たち）
- 13回 欧米の音楽教育 II（ベルリンフィルと子供たち）
- 14回 海外の音楽教育と日本音楽教育の比較 I
- 15回 まとめ

＝成績評価の方法と評価の基準＝

出席状況・授業態度・提出物・試験を総合して評価する

=その他=

テキストは特になし